

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 15 日

事務事業名		児童生徒健診事業					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	020102000200
総合計画の施策名		0201 学校教育の充実					単独/補助	単独	所属課	090101 学校教育課
政策体系	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり					課長名		
	施策名	01	学校教育の充実					グループ	総務グループ	
	手段名	02	②教育体制の充実					担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	02	01	02	00	小学校管理事業			
法令根拠	学校保健法、学校保健安全法、結核予防法					単年度繰返し (平成17年度～)				
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健法により、各学校における健康診断及び小4・中1年を対象とした小児生活習慣病予防検診を実施する。検診結果により、小児生活習慣病予防検診に対しては、保護者を対象に医師の説明会等を実施し予防対策を行う。(児童生徒健診事業) 学校保健安全法の規定により、翌学年の初めから学校に就学させるべき者で、本市に住所を有する者の健康診断を行う。(就学時健康診断事業) 結核予防法により、結核の予防上特に必要と認めるときは、結核にかかっていると疑うに足る正当な理由にあるものに対し健康診断を受けさせるべきことを勧告することができる。(結核精密検査事業) 上記事業に必要な学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱する。(学校三師の報酬、検診委託料は本事業に計上) 		<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の健康診断日程調整及び二次検診者を把握し各学校へ連絡調整を行う。 精密検査を要する該当者があった場合は学校へ連絡し、対象者に精密検査無料受診券を配布し、1ヶ月以内に医療機関へ受診するよう勧める。 就学予定者名簿を作成し、保護者に健康診断の案内・調査票を発送する。 10月頃に各小学校において健康診断を行う。 検診委託料の事務支払 次年度の健康診断の日程調整 	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
健康診断日程調整 二次検診対象者の把握・二次検診の実施 小児生活習慣病予防検診結果結果通知・説明会実施 委託料の支払	児童生徒健康診断実施回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	就学予定児童生徒検診回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
児童生徒 就学予定児童	児童生徒数	人	2,493.00	2,395.00	2,228.00	2,167.00	2,200.00
	就学予定児童数	人	206.00	195.00	200.00	200.00	200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
児童生徒の疾病を予防するとともに、適切な措置及び治療をおこない、楽しい学校生活を送ってもらう。	受診率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	9,063	10,241	9,142			
	事業費計 (A)	千円	9,063	10,241	9,142			
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人			

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	01 報酬	5,960		01 報酬	5,096	
	10 需用費	32		10 需用費	29	
	12 委託料	4,249		12 委託料	4,017	
	合計		10,241	合計		9,142

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> 日程調整、二次検診者を把握、精密検査の調整 就学予定者の保護者に健康診断の案内・調査票を発送する。 10月頃に各小学校において健康診断を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 日程調整、二次検診者を把握、精密検査の調整 就学予定者の保護者に健康診断の案内・調査票を発送する。 10月頃に各小学校において健康診断を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 日程調整、二次検診者を把握、精密検査の調整 就学予定者の保護者に健康診断の案内・調査票を発送する。 10月頃に各小学校において健康診断を行う。

	行つ。 ・検診委託料の事務支払	を行つ。 ・検診委託料の事務支払	を行つ。 ・検診委託料の事務支払
事務事業名	児童生徒健診事業	事務事業No.	20102000200
		所属課	学校教育課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 学校保健法に定められている。 平成25年度をもって結核対策委員会が廃止され、以後は学校医の判断により精密検査無料受診券を発行している。			
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ なし			

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 学校保健法に基づき行っている事業であるが、児童生徒の健康が維持できることは、学力・心・体力の調和のとれた人材が育まれることに結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 学校保健法に基づき実施をしているので、市で行うことは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 医師等の診察によるため、市独自の成果の向上余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 廃止休止することは、学校保健法に反する。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 他に類する事業がない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 委託先である茨城県総合健診協会は、過去の健診結果等を管理し毎年の健診を実施しているため、委託先を変えることは難しい。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 対象学年全ての児童生徒を対象としているので公正・公平である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	児童生徒が健やかに成長するための事業であるので、次年度も引き続き実施をしていく。 就学時健康診断については、学校側からは全体で一か所において検診を行う等の要望があるが、就学児が学校に慣れることや諸々の観点から就学校での受診としている。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ②																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認